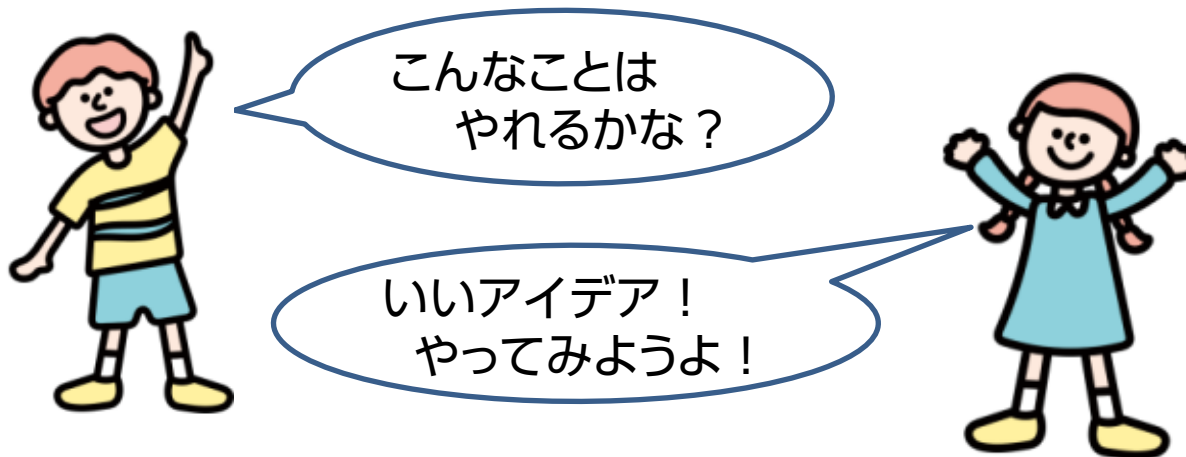


子どもたちの「やってみたい」を実現！ ～藤沢市子どもファンド事業の試行～



藤沢市 子ども青少年部 子ども総務課



子どもの意見表明について

2023年 4月 こども基本法 施行

2023年12月 こども大綱 閣議決定

藤沢市子ども・若者共育計画

☞ 児童の権利に関する条約の考え方を具体化

★子どもの意見を聞くことが義務に！！



子どもは「守られる対象」であるだけでなく、
「社会をつくる一員」である。

◇大人の受け入れる姿勢が大事◇

➡ 2025年 3月
藤沢市子ども・若者共育計画 策定



藤沢市子ども・若者共育計画では



基本目標1：子ども・若者のライフステージを通じた施策の推進

基本目標2：だれひとり取り残さない子ども・若者支援の推進

基本目標3：子どもの誕生前から幼児期までの支援の充実

基本目標4：学童期・思春期の支援の充実

基本目標5：青年期の支援の充実

基本目標6：子育て当事者への支援の充実

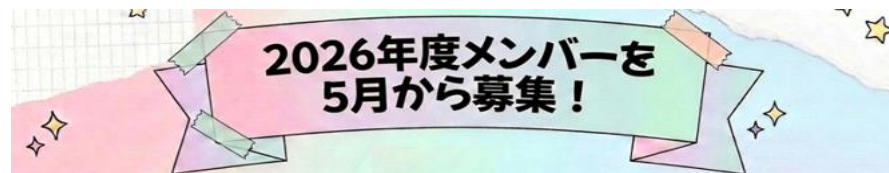
基本目標7：子ども・若者の意見表明・意見反映

基本目標8：地域全体で共に支える基盤をつくる

★計画期間2025年度～2029年度の5年間
8つの基本目標を掲げて「こども施策」を推進

👉 「子ども・若者の意見表明・意見反映」を基本目標に掲げる





これまでの取組①

ふじさわ子ども・若者委員会(愛称「かわせみボイス隊」)の立ち上げ

高校生、大学生の委員が頑張っています！
市の施策への「意見表明」をするほか、
次のテーマでグループワークを行い、
自らの「まちへの思い」を事業として提案！！

《テーマ》

- ①居場所づくり
- ②ライフデザイン
- ③政策



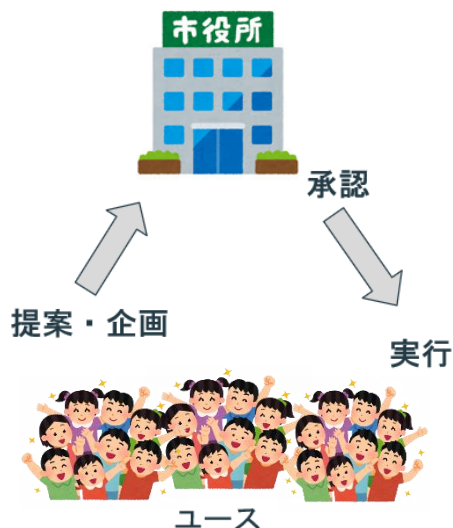
👉 子ども・若者の意見表明のための仕組みの一環となる取組

これまでの取組②

ふじさわ子ども・若者委員会「政策チーム」の提案

- 政策提言（ふじさわ子ども・若者委員会の事業展開の提言①）

ユースが企画、計画、実行を出来る事業へ！



メリット

- ・ユースが日常の中で感じる「不便さ」や「困りごと」を提案・企画に反映できるため、行政をより身近に感じられる。
- ・また、第三者のユースもその取り組みを自分ごととして捉えやすく、共感が生まれやすい。

例えば、、、

- ・清掃活動大運動会
- ・サンパール広場でのユースフェス
- ・ユースが主導のSNSを用いた広報活動

16



👉 子ども・若者の意見表明のための仕組みの一環となる取組

藤沢市子どもファンド事業の試行！ ①

目指していくのは、「子どもたちによるまちづくり！」

目的 様々な地域課題の解決やまちの魅力の向上を目指し、子どもたちが、自分たちの視点で、自ら声を上げて取り組み、「自ら社会を動かす経験」を提供します。

条件 ①藤沢市在住・在勤・在学の18歳以下の子どもが3人以上いる
②1つの家族(兄弟姉妹)だけではない
③お手伝いをしてくれる20歳以上の大人が2人以上いる
この3つの条件を満たした団体

「公開審査会」を経て、

子どもたちが主体の事業提案に
最大20万円までの補助をします！！



藤沢市子どもファンド事業の試行！ ②

子どもたちが主体になる仕組みとして…

事業提案について
話し合う子どもたち



プレゼンテーション
をする子どもたち

事業の審査に協力する
子どもたち

「子ども審査員」





藤沢市子どもファンド事業の試行！ ③

子どもたちの自由なアイデアを応援していきます！

- ①地域の魅力を発信する広報プロジェクト
- ②観光MAPの作成や子ども目線の観光PR
- ③商店街や地元のお店と連携したイベント企画
- ④公園や海岸の環境を守る清掃・美化活動
- ⑤多文化共生や国際交流をテーマにした取組
- ⑥防災・安全をテーマにした啓発活動

など





藤沢市子どもファンド事業の試行！ ④

参加団体及び子ども審査員を募集します！

スケジュール	
応募期間 (参加団体及び子ども審査員)	5月1日～6月8日
公開審査会	7月5日
活動開始	7月中旬以降
活動期間最終日	2027年1月末日
活動報告会	2027年3月21日



藤沢市こども未来基金とは…

2024年1月創設

～新たな「こども施策」のために～

目的 「すべてのこどもが、今のかけがえのない時間を幸せに生きることができ、未来に夢や希望をもって歩いていくことができるよう、こども自身の想いや声を尊重し、多様な主体が協働してこどもの健やかな成長を後押しすることができる社会を実現する」という目標に賛同いただいた皆様の寄附によって成り立っている基金となります。

主な用途

- ① **生活、居場所及び経験や体験の充実**
- ② **子どもを助ける地域団体への支援**
- ③ **子どもが発案・企画する事業の実施**
- ④ **目的を達成するための事業**



藤沢市こども未来基金とは…

令和8年度予算活用予定
9,048千円



支援対象	事業概要	令和8年度 予算額
市社会福祉協議会	子どもへの食支援を支えるため、冷蔵庫・冷凍庫を備え、寄附物品等を保管・仕分・配布する拠点に対する財政的支援	846,000円
子どもの学習・生活支援事業事業者	子どもの学習・生活支援事業における模試の受講経費の支援	180,000円
フリースクール等に通う児童生徒の保護者	不登校児童生徒がフリースクール等を利用するに当たり、その保護者の経済的負担を支援	4,000,000円
多胎児や慢性疾患などの医療的ケアが必要な児童のいる世帯	多胎児や慢性疾患などの医療的ケアが必要な児童のいる世帯に対する家事支援を行う産後ヘルパーの利用経費の支援	720,000円
事業の企画運営をする子どもを中心とする団体	子どもたちの「やってみたい」をかたちにするため、自ら提案及び実施する事業経費を補助	3,302,000円